

おぢや市議会 だより

NO. 97
令和 2.7.25

編集発行
小千谷市議会
☎83-3505

OJIYA CITY ASSEMBLY

- 第2回定例会議決結果 …… P2~3
- 常任委員会報告 …… P3
- 一般質問 …… P4~9
- 議会報告会 …… P10~11
- 議会日誌 …… P12
- 雪あかり、編集後記 …… P12

—主な掲載内容—



小千谷高等学校写真部 撮影

第 2 回 定 例 会 議 決 結 果 (6月8日から6月26日まで開催)

議案番号等	議 件 名	議決状況	議決結果	
条 例	議案第43号	小千谷市税条例の一部改正	全会一致	原案可決
	議案第44号	小千谷市都市計画税条例の一部改正	〃	〃
	議案第45号	小千谷市国民健康保険税条例の一部改正	〃	〃
	議案第46号	小千谷市手数料条例の一部改正	〃	〃
	議案第47号	小千谷市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正	〃	〃
	議案第48号	小千谷市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	〃	〃
予 算	議案第49号	令和2年度小千谷市一般会計補正予算(第4号)	〃	〃
	議案第50号	令和2年度小千谷市国民健康保健特別会計補正予算(第2号)	〃	〃
	議案第51号	令和2年度小千谷市介護保険特別会計補正予算(第1号)	〃	〃
	議案第52号	令和2年度小千谷市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	〃	〃
その他	議案第27号	専決処分(令和元年度小千谷市一般会計補正予算(第7号))	〃	承認
	議案第28号	専決処分(小千谷市税条例等の一部改正)	〃	〃
	議案第29号	専決処分(小千谷市都市計画税条例の一部改正)	〃	〃
	議案第30号	専決処分(小千谷市国民健康保険税条例の一部改正)	〃	〃
	議案第31号	専決処分(小千谷市介護保険条例の一部改正)	〃	〃
	議案第32号	専決処分(小千谷市水道条例の一部改正)	〃	〃
	議案第33号	専決処分(令和2年度小千谷市一般会計補正予算(第1号))	〃	〃
	議案第34号	専決処分(令和2年度小千谷市水道事業会計補正予算(第1号))	〃	〃
	議案第35号	専決処分(小千谷市税条例の一部改正)	〃	〃
	議案第36号	専決処分(小千谷市国民健康保険税条例の一部改正)	〃	〃
	議案第37号	専決処分(小千谷市後期高齢者医療に関する条例の一部改正)	〃	〃
	議案第38号	専決処分(小千谷市介護保険条例の一部改正)	〃	〃
	議案第39号	専決処分(小千谷市国民健康保険条例の一部改正)	〃	〃
	議案第40号	専決処分(令和2年度小千谷市一般会計補正予算(第2号))	〃	〃
	議案第41号	専決処分(令和2年度小千谷市国民健康保険特別会計補正予算(第1号))	〃	〃
	議案第42号	専決処分(令和2年度小千谷市一般会計補正予算(第3号))	〃	〃
	議案第53号	契約の締結〔クリーンスポット大原廃プラスチック系減容化施設基幹的設備改良工事〕	〃	原案可決
	議案第54号	財産の取得〔消防ポンプ自動車〕	〃	〃
	議案第55号	小千谷市固定資産評価審査委員会委員の選任〔小杉裕美子氏〕	〃	同意
	議案第56号 ～ 第74号	小千谷市農業委員会委員の任命 〔荻野清一氏、大平敏和氏、鳥山堅一氏、細金剛氏、磯部正行氏、藤巻政一氏、堀井信良氏、谷口一夫氏、鈴木栄正氏、金子悟氏、和田正克氏、堀澤吉秋氏、中野和子氏、小池賢司氏、藤田清夫氏、小見山優子氏、國松吉範氏、田中正好氏、長谷川有理氏〕	〃	〃
発 議	発議案第2号	小千谷市議会の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正	賛成少数	否 決
	発議案第3号	30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書	全会一致	原案可決
請 願	請願第2号	30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書の採択を求める請願	みなし	採 択

※議決状況の「みなし」は、その請願に対応した同趣旨の意見書の発議案が提出され、先に採決したので、その議決結果をもって採択されたものとみなします。

常任委員会報告

総務文教委員会

委員長 上村 行雄

本委員会に付託されました議案第43号、議案第44号、議案第46号、議案第49号及び請願2号の以上5件につきまして審査した結果、議案4件について原案のとおり可決すべきものと決しました。また、請願1件を採択すべきものと決しました。

○議案第49号 令和2年度小千谷市一般会計補正予算（第4号）について

委員会での意見・討論

8款土木費の官民連携支援業務委託料について。

病院跡地で図書館を核とした複合施設ができることに関する機運や市民参加型の施設運営を継続的に保ち、醸成していくことは大変大事です。これまでのワークシヨップやシンポジウムなどの積み上げがある中で、この事業が同じことの繰り返しにならないように、しっかりと充実した事業運営を行っていたいただきたいという意見がありました。

民生産業委員会

委員長 住安 康一

また討論として、コロナウイルス流行に伴い、市民の意識も変わってきたので、どのような使い方をしたいか、どのような機能を持たせたいかという聞き取りをし、新しい施設に反映させることは重要である。図書館や市民協働を熟知したコンサルタントに委託することで、素晴らしいものができて良かったという結果を期待し、賛成というものがありません。

採決の結果、原案のとおり可決すべきものと決しました。

○請願第2号 30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書の採択を求める請願について

全員異議なく採択すべきものと決しました。



本委員会に付託されました議案6件について、慎重に審査した結果、原案のとおり可決すべきものと決しました。

○議案第45号 小千谷市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、地方税法及び土地基本法等の一部を改正する法律の施行に伴う改正であり、低未利用地を有効活用するために譲渡をした場合、所得から一定の控除を行う課税の特例を創設するものです。

○議案第47号 小千谷市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

○議案第48号 小千谷市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

以上の2議案は、国が示す基準の一部が改正されたことに伴い、所要の改正を行うものです。

○議案第50号 令和2年度小千谷市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について

本案は、新型コロナウイルス感染症の影響に係る減免の特例を定めた、小千谷市国民健康保険条例の一部改正に係る専決処分に対応し、予算の修正を行うものであり、既定の予算の総額に歳入歳出それぞれ330万円を追加するものです。

○議案第51号 令和2年度小千谷市介護保険特別会計補正予算（第1号）について

本案は、介護保険第1号被保険者の保険料軽減及び減免を実施するための介護保険条例の一部改正に係る専決処分に対応し、予算の補正を行うものであり、既定の予算総額に歳入歳出それぞれ350万円を追加するものです。

○議案第52号 令和2年度小千谷市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について

本案は、新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した被保険者等に係る後期高齢者医療保険料の減免について、新潟県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療に関する条例の一部改正が行われたことに伴い、予算の補正を行うものであり、既定の予算総額に歳入歳出それぞれ65万円を追加するものです。

議員賛否の状況（採決において賛否が分かれたもの）

議決結果	賛否		議員															
	賛成	反対	阿部守男	平澤智	上村行雄	駒井和彦	大矢弘光	佐藤栄作	森本恵理子	住安康一	内山博志	佐藤隆一	吉崎進	久保田陽一	長谷川有理	田中淳	山賀一雄	本田剛
発議案第2号	否	決	6	9	○	×	×	○	×	×	×	×	○	×	○	-	×	○

※ ○は賛成、×は反対、議長（田中淳）は採決に加わりません。

内山 博志 議員



新型コロナウイルス対応
財政調整基金の活用

未曾有の新型コロナウイルス感染症は地球規模での収束までには長期の闘いを強いられる。感染拡大防止と経済活動の両立が求められている。飲食、サービス業などや鉄工下請けでは売り上げゼロなどもある。

質問 事業継続のためにも雇用調整助成金の上乗せで支援してはいかかがか。

答弁 国の第2次補正で1人1万5000円に引き上げられた。上乗せは考えていない。

質問 今後公共料金の軽減など継続を検討すべきではないか。

答弁 現時点では考えていない。

質問 国へ持続化給付金申請サポート会場の早期設置要望と周知を。

答弁 7月13日から21日まで楽集館で開催されることになった。広報おぢや、市ホームページ

ジ、商工会議所だより等で周知を図る。

質問 農業者、養鯉業者などの支援は遅くならないよう対応を。

答弁 引続き実態把握に努め必要な支援は迅速に対応する。

質問 特別定額給付金の未申請者への対応は。

答弁 未申請の世帯主に文書を送った。今後もきめ細やかな対応に努める。

質問 税の減免について具体的に周知を。

答弁 今後さらに納付書等送付の際に具体的基準を掲載したチラシを同封する。

質問 大胆に財政調整基金を活用すべき。

答弁 国の補助金等最大限活用し、さらに必要ときは迅速に実施する。

質問 就学援助費申請の対応は。

教育長答弁 失業や給与激減で支給対象になる場合がある。全保護者に文書でその旨周知する。

上村 行雄 議員



新型コロナウイルスの
現状と対策について

質問 今年度中に生徒一人に1台のパソコンが導入される予定であるが、実際に稼働し授業がなされるのはいつ頃になるのかまた今後の感染状況に応じたオンライン授業の可能性と見通しについて。

教育長答弁 国は、早期整備に向けた取組を行っています。急速なテレワークの浸透によりパソコン需要が増加し、現段階で実際の授業開始時期を示すのは難しい。1日も早く整備できるように取り組む。またオンライン授業は学力保障の手段の一つとして有効であり、必要性は認識している。

質問 市税及び料金の減免や予算による財政面での見通しと課題について。

答弁 国や当市独自の緊急対策として、市税の支払い猶予及び水道料金の減額を行っている。

令和3年度は、事業用資産に係る固定資産税及び都市計画税の減免を行うこととしている。次年度は、市税全体に減収のほか地方交付税の減収も予測されることから財政運営に与える影響は深刻なものと考えている。

現在も一部、財政調整基金の取崩しで対応しているが、事業の見直しや財政調整基金の取崩しで対応せざるを得ない。

質問 感染時の重症化リスクの高い高齢者や高齢一人暮らし世帯の生活維持や支援について。

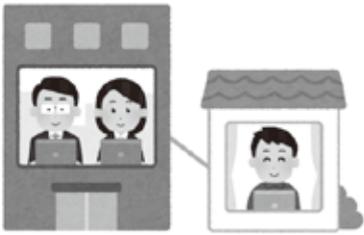
答弁 一人暮らし高齢者や支援が必要な高齢者には、日頃より民生委員の声かけや見守り、相談対応を行っている。6月中旬から訪問による高齢者現況調査を開始。生活上の注意喚起を行い、高齢者への介護予防も含めた支援を引き続き行う。

令和3年度は、事業用資産に係る固定資産税及び都市計画税の減免を行うこととしている。次年度は、市税全体に減収のほか地方交付税の減収も予測されることから財政運営に与える影響は深刻なものと考えている。

現在も一部、財政調整基金の取崩しで対応しているが、事業の見直しや財政調整基金の取崩しで対応せざるを得ない。

質問 感染時の重症化リスクの高い高齢者や高齢一人暮らし世帯の生活維持や支援について。

答弁 一人暮らし高齢者や支援が必要な高齢者には、日頃より民生委員の声かけや見守り、相談対応を行っている。6月中旬から訪問による高齢者現況調査を開始。生活上の注意喚起を行い、高齢者への介護予防も含めた支援を引き続き行う。



本会議をインターネット中継しています

市議会ホームページからインターネットライブ中継でご覧いただけます。

本会議当日のライブ中継のほか、本会議終了後概ね1週間後には、録画映像も配信しています。

今号から市政への一般質問で各議員の顔写真の下にQRコードを掲載しています。スマートフォンやタブレット端末でQRコードを読み取ると、各議員の一般質問の録画中継をご覧いただけます。

また、会議録も市議会ホームページで閲覧できます。

(令和2年第2回定例会の会議録掲載は、8月末頃となります。)

URL <https://www.city.ojiya.niigata.jp/site/gikai/>

小千谷市議会

検索

久保田陽一 議員



コロナ禍での災害避難・避難所運営、防災公園について

質問 避難所運営マニュアルに新型コロナウイルス感染症対策を加えるべきでは。

答弁 内閣府から通知の「避難所における新型コロナウイルス感染症への対応の参考資料」に基づき、避難所運営マニュアルと合わせて、避難所における新型コロナウイルス感染症への対応をまとめた事前準備と運営のポイントを作成し、町内会や自主防災会へ配布したほか、ホームページに掲載し周知している。

質問 コロナウイルス対策で、避難所での1人当たりのスペースを4㎡に広げ、旅館やホテル等の施設を加え、できるだけ多くの避難所開設に努めているがいくつくらい数を増やすのか。また、基幹避難所等での感染症対策として、教室や会議室の使用など柔軟な対応が必要では。

答弁 町内会長や自主防災会に對して、災害時に可能な所有または管理している施設の調査や小千谷旅館組合に對して、災害時における宿泊施設の避難所としての利用調査を実施し、取りまとめている。基幹避難所においては、感染予防の観点から小中学校の教室や会議室等の利用も必要と考え、柔軟な対応を図りたい。

質問 コロナの影響で防災公園の工事日程に影響はないのか。また、公園整備の進捗率、予定どおり10月から利用できるのか。

答弁 コロナの影響による工事日程等への影響はない。また、公園整備の進捗率は5月末現在で60%。利用開始時期は隣接する東栄元中子線の交差点改良工事が10月以降にあり、利用者の安全確保のため、当初予定の10月を来年度春以降に変更しなければならぬ。

質問 いつ頃を目途に公園内の施設整備を進めるのか。

答弁 新型コロナウイルス感染症の影響による財政状況を注視しながら、第五次小千谷市総合計画後期基本計画にて検討する。

吉崎 進 議員



旧小千谷総合病院跡地整備事業について

質問 旧小千谷総合病院解体について4億円の交付金を国に返す必要があるのか。

答弁 国の示す都市再生基本方針に基づいており、返還する必要はない。

質問 2月4日に新潟日報に温水プールが設置されると掲載された経緯について。

答弁 当市が作成したものではないので答えられない。

質問 2月7日に建物を建設する(株)植木組が辞退した原因は何か。

答弁 事業提案締切後から事業計画締結までの間に、コスト負担や業務分担等について応募グループ内で見解相違が生じたためとの理由による。

質問 優先交渉権者の辞退について、市の責任はないのか。

答弁 辞退に至った要因は優先交渉権者側の原因であると考え

ている。結果として事業の進捗が遅れたことについては、期待している市民の皆様に対して、申し訳ないと感じている。

質問 今後もPFI方式で計画するのか。

答弁 施設の供用開始を早めることを念頭に、それぞれの方式のメリット、デメリットを再度比較検討し、本年9月を目途に決定したい。

質問 市単独で施設を作る場合は市内の業者で十分対応できるし、市の活性化にもつながるのではないか。

答弁 今後も従来どおり要件が合致する場合には、市内企業の事業参加を期待するとともに、適正に対応していく。

質問 計画を令和4年度まで延期する必要があるのでは。

答弁 賑わい・交流・憩いの創出を実現することにより、市内の経済活動の促進効果にも期待しているため、できる限り迅速に本事業を進める考えである。



市政の内容を聞く 一般質問

市議会を傍聴してみませんか

第3回定例会開催予定

9月1日(火)	第1日	議案上程説明
9月2日(水)~7日(月)		各常任委員会審査
9月17日(木)	第2日	一般質問
9月18日(金)	予備日	一般質問(質問者が多い場合に開催)
9月24日(木)	最終日	委員長報告、採決

※日程は変更される場合があります。各委員会の日程、団体での議会傍聴については議会事務局(Tel.83-3505)へお問い合わせください。委員会の傍聴については、あらかじめ議会事務局へお申し出ください。

駒井 和彦 議員

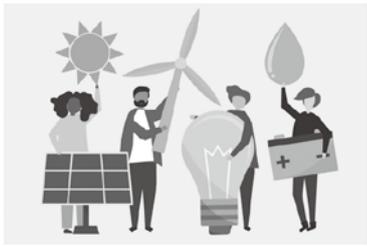


今後の市政に再生可能エネルギーを、について

質問 今般の新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、国民のライフスタイルの見直しや、コロナ以前の田園回帰志向の醸成と相まって、地方への移住者が増大する可能性がある。当市が選ばれるかどうかは、その対応次第だと考えるが、今後の取組について伺う。

答弁 まずは市民にとっての住み良いまちを考えるため、小千谷市総合計画に基づき、魅力あるまちづくりを進めているが、その活気を発信することで、当市の魅力を感じてもらうことが重要と考える。今までの地域情報発信のほか、今後は県や民間団体などが主催するオンライン移住相談、自然やクラインガルテン、空き家バンク登録物件を動画で見せるような取組も行っていく。

質問 地域のエネルギーを地域



で活かす「小千谷市エネルギービジョン」が策定されたが、おぢやクラインガルテンふれあいの里の電力を全て再生可能エネルギーで賄う試行をしてはどうか。同ビジョンに掲げられた「エネルギーのふるさと おぢや」を目指し、市長直轄の専門部署を設置してはどうか。

答弁 試行であっても施設全てとなると多額の費用が見込まれ、元に戻すことが容易ではないことから、事前の調査を踏まえた計画づくりからになる。現在、専門の部署を設置することは考えていないが、目標達成に向け必要となれば、関係部署内で検討したい。小千谷らしい再生エネ「地中熱」。素晴らしい取組と考える。消雪井戸の活用は想定している。まだ課題もあるが、その後の研究成果に期待したい。

住安 康一 議員



市道の白線の修繕について

質問 修繕の判断のための評価基準、優先順位に基づいた管理、点検サイクルの基準などを設定した、市道白線修繕管理計画を作ることを提案する。

答弁 「小千谷市道路舗装修繕計画」を策定し、この計画に基づき舗装修繕にあわせて外側線等の塗り替えも実施。また、町内要望や道路パトロール、通学路では小千谷市通学路交通安全推進会議による合同点検の結果をもとに修繕する。

「おくやみコーナー」の設置

質問 当市ホームページに、おくやみ手続きをチェックリスト形式で載せるなど、改善が必要。

答弁 わかりやすいものへ改善する。

質問 書類に故人の氏名や住所など、何度も同じようなことを書く必要がある。住所氏名など記入された、市役所の申請書の

一括作成をするなどの「おくやみコーナー」の設置を提案する。

答弁 手続きのほとんどが市民生活課及び福祉課で行われ、基本的に担当職員が入れ替わり手続きを受けている。1日あたり2名程度の受付のため、「おくやみコーナー」の設置はしない。

新型コロナウイルス感染症対策

質問 今後打つべく施策の基本的な考え方、方向性は。財政調整基金をどこまで使うのか。

答弁 緊急対応段階では、感染予防及び感染拡大防止とともに、事業の継続・雇用の維持への支援に重点を置いた。今後は地域経済の回復や新しい生活様式への対応に関する支援策を講じる必要がある。財源は、国の補助金や交付金を最大限に活用したうえで、さらに不足する場合は、財政調整基金で対応したい。

特別定額給付金一人10万円

質問 特別定額給付金一人10万円は4月27日という基準日がある。それ以降に生まれた赤ちゃんに、市独自の新生児特別給付金を望む。

答弁 あらゆる制度において、一定の基準や線引きが必要。

議会用語豆知識

① 議案

市長、議員または委員会から提出され、議会の議決を要するすべての案件をいいます。

② 質疑

議案の内容について、疑問点を問いただすことをいいます。

③ 一般質問

議案とは別に、市政全体について市長などに質問し、考え方を問いただすことをいいます。

④ 委員会付託

議案を委員会で詳しく審査すること、またその手続をいいます。

⑤ 討論

議案などについて、賛成または反対の意見を述べることをいいます。

⑥ 表決

議案などについて、賛否の意思を表示すること。表決の方法としては、簡易表決や起立表決、投票表決などがあります。

森本恵理子 議員



障がい者就労支援施設について

質問 コロナウイルス感染による経済への打撃は計り知れず、その余波は障がい者就労支援施設にも及んでいる。業務発注量や販売機会の減少等の現状把握、今後の展望・対応を伺う。

答弁 一時は受注量の減少があったがマスクの作成等の代替作業により利用者工賃支払いへの影響は少ない。引き続き、事業所と連携しながら対応していく。

観光交流のありかたについて

質問 おぢやふるのキャンペーンサイトの混雑回避、またサービス向上のために、有料化し、顧客満足度の向上につなげては？

答弁 有料化することについて提供するサービス内容を踏まえて検討していく。
質問 コロナ対策には多額の費用がかかるため、移住者を増や

し税収増を同時に図ることが必要と考える。働き方の変化により、地方回帰への想いが高まる今、移住施策を仕掛ける絶好の機会である。住まいや働く場所の受け入れ態勢の整備などを進めること、また他自治体との差別化を図ることが重要になると考えるが見解と対応を伺う。

移住希望者に対して、市民の活気ある生き方を発信し、

本市の魅力を感じてもらおうことが重要。動画配信等の取組を行っている。

就労支援組織「おぢや・夢・ミライ応援団」について、

今は情報提供だけのアプリと なっているが、双方向を目指し、学生からは簡単な履歴書形式の記載をしていただき、市内企業側からは求人情報を掲載していただくなどマッチングサービスの側面を強くすることで、ターゲットに結び付けてはと考えるが。

今年度より運用を開始したアプリであり、

今後はマッチング機能の追加や企業の情報発信など、更なる機能強化についても研究に努めていく。

山賀 一雄 議員



史跡の維持管理について

長い歴史の中で生まれた貴重な史跡・文化財は小千谷の財産である。これらの史跡・文化財の維持管理は、所有者等の私権が関わる部分があることから難しい問題ではあるが、何点か伺う。

史跡として指定されているものは、

全て発掘調査をしているのか。

指定文化財13件のうち、

清水上遺跡、大平遺跡の2件は行っているが、城跡等は、文献との突合や現地の遺構が視覚的に把握できているので行っていない。

発掘調査を行った件数は、

発掘調査を行い、文化財調査報告書として保存されているものは、市が6件、県が10件ある。

出土した埋蔵物は、全て

埋蔵文化財として扱うのか。

出土・採集に関わらず、

江戸時代以前の土器や石器等と判別できるものは埋蔵文化財として扱う。

県が発掘調査をした城之腰遺跡出土埋蔵物の所有権は、

どこに帰属し、誰が保存管理しているのか。

所有権は県に帰属し、

保存管理は埋蔵文化財センターで行っている。

県所有の埋蔵文化財であっても、

市が譲り受けることは可能か。

文化財保護法に基づき、

県と協議のうえ譲り受けることは可能である。

観光的要素もある城跡の維持管理は、

どう考えるのか。

文化財は国民的財産であること

を自覚し、公共のために保存するとともに、これを公開するなど文化的活用を努める。また、城跡についても積極的な活用が必要と考

え、地権者の理解を得るなどして、協議により対応する。



お知らせ

新型コロナウイルス感染症緊急経済対策

特別定額給付金の申請期限が迫っています。

申請期限／8月6日(木)

申請を希望される方で、手続きがまだお済でない方は至急手続きをお忘れなく。

プレミアム付商品券「おぢやお得な応援券」の販売

新型コロナウイルス感染症により影響を受けた飲食業・タクシー業・旅行業・宿泊業を応援するため発行しているプレミアム付商品券の販売期限が迫っています。

販売期限／7月31日(金)

販売場所・詳しくは7月25日発行の広報おぢやをご覧ください。



平澤 智 議員



中心市街地の商業振興について

質問 旧小千谷総合病院跡地開発について、今後の市民の意見を取り入れる予定はどういったスケジュールとなっているか。

回答 再度市民の声や意見を取り入れる具体的な計画はあるか。また商店街としての視点からの意見を取り入れることも有効ではないかと考えるが小千谷市としての考えを求める。

質問 これまでワークシヨップやヒアリング等を実施してきたが今後も機運を高める企画等を継続的に実施していく。

質問 商店街活動の連合化を推進した場合小千谷市としての支援体制の変化の可能性や適用できる新支援事業等はあるか。

回答 現在組織の連携事業や連合化に対する当市独自の支援策については国・県・などの支援事業を含め対応する。

質問 行政、地域住民、商店街、地域おこし協力隊、地域づくり団体等が一体となってそれぞれの役割や持ち味、足りない部分を補い合い連携し、地域の活性化を推進していく仕組み作りが必要と思うが、必要性・有効性・問題点について伺いたい。

回答 責任の所在を明確にする整理が課題になると考える。市民協働の中間支援組織である「地域づくり支援団体こしやる」を設立、活動している。

質問 昨今のテレワーク推進の機運が進む中で企業の首都圏からの分散運営や本社移転、社員の移住推進が全国的に話題となっている。誘致に力を入れても良いのではないかと思うが。

回答 企業誘致活動について当市の広告広報と合わせリモートオフィス、ワーケーション等の意向調査を行ってきた。一過性かどうかも見極めた対応もしたうえで中心市街地に限らず空き家や空き店舗などの情報提供広告広報に努める。

佐藤 隆一 議員



コロナ後を見据えた病院跡地計画づくりを

質問 5月22日の商工会議所との意見交換では、米中対立の影響で、出荷額が落ち込んだと説明がありましたか。

回答 平成30年の出荷額は過去最高でしたが、11月から落ち込みが始まり、昨年は13%、今年は激しく落ち込んでいます。また、飲食・観光業関連は、緊急事態宣言で50%から90%のマイナスとなっています。

質問 影響は短期に終息すると考えていますか。

回答 今後も感染拡大のリスクがあり、ワクチンが開発されるまで終息の見込みはないと考えています。

質問 社会・経済活動が完全にストップし、自粛疲れが起こっています。市議会や自治体が率先して行動することを求められているが。

回答 飲食店等を対象とした応援券を積極的に活用し、感染症拡大防止と経済活動の維持に努めたい。

質問 特別給付金は対象者すべてに届きましたか。

回答 対象件数1万2721件のうち96.4%に給付しました。

質問 1億5000万円の交付金を活用した事業内容と規模はどのくらいになったのでしょうか。

回答 水道基本料金の減額やプレミアム付商品券の発行事業など、2億9500万円となります。

質問 コロナ基金を立ち上げ本格的な支援体制を作るべきではないですか。

回答 基金は考えていない。

質問 病院跡地利用はコロナ後の社会を見据えた施設計画とすべきでは。

回答 再エネの導入について検討する。地域の賑わいをどう出すか議論し、意見を伺っていく。

議員表彰

全国市議会議長会から表彰状が贈られ、議場にて表彰伝達式を行いました。

正副議長5年表彰
田中 淳 議員



長谷川有理 議員



新型コロナウイルスでの市民要望

質問 特別定額給付金100%の支給実現を。

答弁 未申請者を抽出する中で様々なサポートを行いたい。

質問 総合支援資金相談6件、申請1件は少ない。対象者が失業者だけでなく収入が減少した自営業者も含むことや償還時に収入が減少したままなら免除される等の情報発信が不十分。

答弁 原因不明。広報している。

質問 プレミアム付商品券の対象に小売業も含めるべき。会議所に相談の声が届いている。

答弁 担当課は聞いてない。今後、当事業に限らず、対応が必要な所、幅広く検討していく。

質問 店舗リフォーム補助の申請や手続きの簡略化や負担減を。

答弁 事業者の負担にならないよう配慮していく。

質問 他市も行う特別給付金の基準日に当てはまらない新生児

や妊婦への市独自の支援策を行うべき。切実な声を聞くが、市に届いていないのか。

答弁 私には届いていない。国が行うべき。当市はしない。

質問 今年度の障がい者優先調達額が減額する懸念があるか。

答弁 予定どおり確保したい。

質問 第2次補正予算の学校各校100万円等の活用計画は。

教育長答弁 スクールサポートスタッフの配置を県に要望していく。その他は文科省の具体的な方針踏まえて検討していく。

未来に希望と元気ある街づくり

質問 リモート、テレワーク、WEB会議の商談支援を。

答弁 国の生産性革命推進事業の周知や活用を促していく。

質問 SDGs踏まえたものづくり企業・農業への支援を。

答弁 長岡技大と連携し進めてきた。強化していきたい。

旧小千谷総合病院跡地整備計画

質問 中心市街地活性化の核で供用開始が守られない事態は深刻で責任はどこにあるのか。なぜ、見抜けなかったのか。

答弁 そういう業者だと見抜けていればこういう事態にはならなかった。市に責任はない。責任は優先交渉権者側の問題。

議場はこんなところ

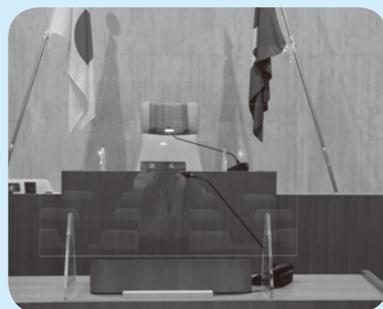
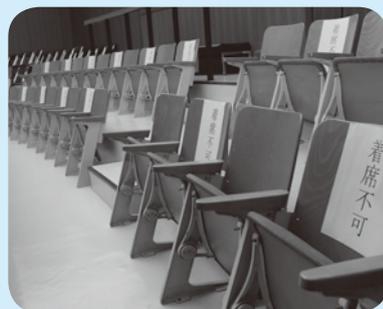
新型コロナウイルス対策



議員席は間隔を空けて座ります。



傍聴席は間隔を確保しています。



演壇と議長席に飛沫感染を防ぐためのパネルを設置しました。

議会報告会

議長あいさつ

議長 田中 淳

当市議会の報告会文書をご覧いただき有り難うございます。

本来であれば平成31年4月に制定された議会基本条例に基づき議会報告会を計画しておりますが、新型コロナウイルスの感染防止を第一義と考え、やむなく本年は中止することと判断、昨年から本年にかけて議会報告会でお話すべき議会活動の足跡の一部を列記しました。

- ①台風19号
- ②新型コロナウイルス
- ③旧小千谷総合病院の跡地検討等の諸問題について、委員会や会派代表者会議、議員全員協議会を開催しながら国や小千谷市長に対して意見を述べてまいりました。

前述した会は基本的に傍聴を許可しない会として位置付けられており、情報の不透明性を補う意味においても議会として報告会を開催し、市民の皆様にお話しすることを予定しております。残念ながら現在の社会環

境・情勢を鑑み経過集約し、今回の紙面での報告とし拝読いただきますようお願い申し上げます。

令和2年第1回定例会

議決内容及び結果

例年、市議会第1回定例会は新年度予算の審議が主となり、年4回の定例会の中で最も重要な定例会です。今議会でご報告させていただく重要な議案等は次のとおりです。

○議案第1号 令和2年度小千谷市一般会計予算について

令和2年度の予算規模は一般会計179億2千万円、特別会計78億6千万2千円、企業会計70億1千762万4千円、総額327億9千812万6千円で対前年度比1%減です。中でも防災公園の整備（約1億2千万円）、取水場自家発電施設建設（約2億8千万円）、新図書館整備（約3億1千3百万円）、旧小千谷総合病院解体（約3億円）、小中学校、総合支援学校情報化推進（約3億4千5百万円）、クリーンスポット大原廃プラスチック減容化設備更新（約

2億3千8百万円）のほか、継続して、ふるさと納税推進事業（1億8千万円）、地方創生推進交付金事業として、「錦鯉をフックとした産業・観光振興戦略事業（5千334万円）、などが新規及び重点事項として計上されました。慎重審議の結果賛成多数で可決されました。

○議案第14号 小千谷市議会の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について

「議員報酬の月額2千円アップ」は、一般のコロナ被害に鑑み、「半年間の延期」の修正動議が提出され、賛成多数で可決されました。

○請願第1号 IR推進法及びIR整備法の廃止を求める請願について

「経済的施策の中で、キャンセルと言ふものと、どう向き合ふのか。性悪説を前提とせず、改めて様々な場で議論すべきだ」等として反対、また、「間違いなくキャンセル依存症は拡大する。それは敷いては治安の悪化を招く事に繋がる」「IR等が日本の成長戦略を託すものとしてふさわしいのかどうか。現時点での世界情勢、国内の情勢を考えても、誰もが危惧され

る状況である」として賛成、の討論がありました。採決の結果、賛成少数として採択されませんでした。

令和2年度の予算は全て承認されましたが、一般のコロナウイルスの影響により、特にイベント開催の可否について議論が分かれるところと思います。

議会基本条例に基づく

委員会活動

小千谷市議会では、議会の役割を明らかにするとともに、議会に関する基本的事項を定めることにより、市民の負託に的確に応え、市民福祉の向上及び市政の発展に寄与することを目的とした、小千谷市議会基本条例を平成30年第4回定例会に議員発議案として提出。全会一致で可決し、平成31年4月1日より施行しています。

この基本条例には議会改革推進委員会と広聴広報委員会が設置され、昨年度より活動しています。

○議会改革推進委員会

議会改革推進委員会ではこれまで議論されてきたことの一つは、子ども議会の開催です。市内の中学校の生徒を対象に考

え、市政や議会についての関心と理解を早くから持つてもらおうことが大きな目的です。夏休みに開催を予定していましたが、この度の新型コロナウイルスの感染で今期は実施出来ないことになりました。もう一つは、市民にアンケートを実施するという計画です。

広聴広報委員会で具体化を進めています。その他に、基本条例に謳われている議会報告会についてですが、これも新型コロナウイルスの問題で開催が出来ないという判断ですが、議会報告会の報告内容について書面で報告することになりました。

○広聴広報委員会

昨年度から「おぢや市議会だより」のリニューアルを検討してきました。そのような中で、表紙の写真は市内2つの高校の写真部にお願ひし、令和2年1月25日号から新しい試みが始まりました。

その後の検討事項としましては、「おぢや市議会だより」の題字の変更や紙面内容の見直し、特に、一般質問記事に関しては質問者の顔写真の掲載並びにQRコードの貼り付けを検討しています。

また、市議会に対する市民の意識を把握し、今後の議会改革の取り組みに反映させることが重要であるため、市民の意識調査であるアンケート調査を検査しています。さらには情報発信の強化として、市議会ホームページの充実に向け検討しています。

【旧小千谷総合病院跡地整備事業】

市では、中心市街地における「賑わい・交流・憩いの創出」を目的として、旧小千谷総合病院跡地に図書館等複合施設を整備します。

これを「民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律」(PFI法)に基づく事業として実施することを予定していましたが、優先交渉者の辞退に伴う優先交渉権者決定の取消を行い、現在に至っています。

市議会は、議員協議会や勉強会を通じ、中心市街地に建設予定の図書館等複合施設が、より良い施設になるよう議員間、市当局と議論を重ねました。

これまでの主な経過は次のとおりです。

○第1回議員協議会

1月17日に当局より優先事業者決定の説明を受けました。

○第1回勉強会

1月29日に跡地整備事業優先事業者及び提案内容に関する担当課(建設課・生涯学習課)との勉強会を行いました。

○第2回勉強会

2月13日に構成員の変更に伴い担当課(建設課・生涯学習課)との勉強会を行いました。

○第3回議員協議会

3月9日に跡地整備事業のこれまでの経過、基本協定及び事業契約について、再整理する場合の考え方について説明を受けました。

同日議員協議会終了後、第3回勉強会にて、担当課(建設課・生涯学習課)から質問に対しての回答を受けました。

○優先交渉者の取消

3月30日に病院跡地整備事業について、辞退届の受理に伴う優先交渉権者決定の取消を市が決定し、翌日31日に議員に書面にて報告がありました。

○市長へ申し入れ書の提出

4月6日に議長より「旧小千谷総合病院跡地整備事業」についての申し入れ書を市長へ提出

しました。

(詳しい内容は市議会HPにて)

○第4回議員協議会

5月18日にPFI事業の評価と今後の整備方針について説明を受けました。

今後、旧小千谷総合病院跡地整備事業は、9月を目標に事業手法を決定し、施設の供用開始は令和6・7年度を予定しています。

【新型コロナウイルス感染症対策】

市議会では、小千谷市新型コロナウイルス感染症対策本部が設置されたことに伴い、令和2年2月29日に小千谷市議会新型コロナウイルス感染症対策支援本部を設置しました。

対策支援本部等の活動内容は次のとおりです。

○第1回対策支援本部会議

3月11日に「新型コロナウイルス感染症に関する緊急要望」の取りまとめを行いました。

○意見書可決

3月19日に新型コロナウイルス感染症が全国的に拡大していることから、第1回定例会最終日に、これに対する意見書が提

出され、全会一致で可決しました。(詳しい内容は市議会HPにて)

○市長へ緊急要望提出

3月19日に市長へ正副議長より「新型コロナウイルス感染症に関する緊急要望」を提出しました。(詳しい内容は市議会HPにて)

○第2回対策支援本部会議

3月27日に「小千谷市議会新型コロナウイルス感染症に関する対応指針」をまとめ、議員としての行動方針を確認しました。

○第3回対策支援本部会議

4月23日に緊急要望に対する対応状況と要望事項等について協議しました。

○民生産業委員協議会

5月11日に経済対策や課の対応について、商工振興課並びに健康未来子ども課より説明を受けました。

○総務文教委員協議会

5月14日に教育委員会関係の対応について、教育長及び学校教育課より説明を受け、予算、啓発等の対応については企画政策課及び危機管理課より説明を受けました。

○民生産業委員会と小千谷商工

会議所(観光サービス部会並びに小千谷鉄工電子協同組合)との意見交換会

5月22日に現況と要望事項等の調査を行いました。

○陳情書の受理

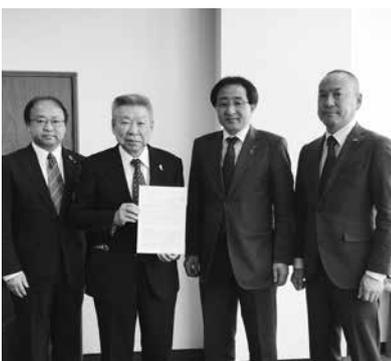
6月1日に小千谷飲食店連合及び県社交飲食業生活衛生同業組合小千谷支部から、感染症防止に協力した事業者への市独自の救済支援を求める陳情書を受理しました。

○第4回対策支援本部会議

7月2日に各常任委員会から提出された「新型コロナウイルス感染症に関する要望事項」について協議しました。

○市長へ要望事項提出

7月15日に市長へ正副議長より「新型コロナウイルス感染症対策に関する要望事項」について提出しました。



〈4月〉

- 3日 広聴広報委員会
- 13日 広聴広報委員会
- 20日 議会運営委員会
- 23日 新型コロナウイルス感染症対策支援本部会議
- 24日 民生産業委員協議会

〈5月〉

- 7日 会派代表者会議
- 12日 広聴広報委員会
- 14日 総務文教委員協議会
- 18日 議会運営委員会
- 〃 議員協議会
- 〃 議員全員協議会
- 〃 議会改革推進委員会
- 22日 民生産業委員会と商工会議所との意見交換会
- 27日 広聴広報委員会

〈6月〉

- 1日 議会運営委員会
- 2日 議会改革推進委員会
- 8日 第2回定例会（本会議）
- 〃 広聴広報委員会
- 9日 常任委員会連合審査会
- 10日 総務文教委員会
- 11日 民生産業委員会
- 18日 会派代表者会議
- 23日 議会運営委員会

- 23日 本会議（第2日）
- 〃 議会改革推進委員会
- 24日 本会議（第3日）
- 〃 広聴広報委員会
- 26日 議会運営委員会
- 〃 本会議（第4日）
- 〃 議員全員協議会

市議会だよりをアプリで配信中

スマートフォンやタブレット端末で使える無料アプリ「マチイロ」で配信中です。
最新号を発行日に自動でお届けします。ぜひご利用ください。

Android用 QRコード



iPhone用 QRコード



現在、小千谷煙火興業専務取締役として、日々、新しい花火の研究をしております。
今年の夏は、この新型コロナウイルスの影響でほぼ全ての花火大会が中止となりました。皆様に、多くのご支援を賜わりながら、この未曾有の事態に、なんとか廃業を免れているというのが弊社の現状です。「新しい生活様式」を求められ、あらゆるシチュエーションで人と人の物理的相互距離・ソーシャルディスタンス（社会的距離）を取るよう推奨されています。「新型コロナウイルス



瀬沼 輝明（山谷）



ス」で倒れるか、「経済活動の停滞」で倒れるか、それがこの疫病との懸念の声も聞かれます。問題は、その疫病が「みえない」ことが、一要因に思えます。「新型コロナウイルス接触確認アプリ」が発表され若い世代の多くが、スマートフォンに入れて利用しております。疫病の「みえる化」が少しでも出来れば、「新しい生活様式」のなかでの、「新しいイベントの形式」が形づけることができるのではと思います。

このコロナ禍、最前線で働いて頂いている「キー・ワーカー（非常に鍵となる勤労者）」の皆様は、普段の生活を支えて頂き、感謝の言葉しかありません。今一度生活様式を見直し、経済活動をしながら、「新型コロナウイルス」とうまく付き合える、この新型コロナウイルスの成功と特効薬の開発とその成功を見守りながら、この新型コロナウイルスの収束後には、必ずや市民の皆様喜んでもらえるような新作の花火を発表します。今しばらくの間、花火の研究に没頭させていただきます。皆様もお身体ご自愛ください。

編集後記

新型コロナウイルス感染症により、経済・学校教育・生活環境に大きく影響を及ぼし、今後も継続して対応や対策を講じていかなければならない状況です。

今定例会においても、感染症に関する議案審議や一般質問が多数行われ、経済支援策としてプレミアム付商品券も発売が開始されたところでもあります。

しかし、いまだ特効薬やワクチンの開発途中であり、収束が見通せない現状であります。

今私たちがやらなければいけないことは、感染しない、感染を拡げないことです。「新しい生活様式」を定着させ、「マスク・うがい・手洗い・人との距離を保つ」ことを遵守し、「国難」と言われる難局を、市民と行政と市議会と一致団結し乗り越えていきましょう。

編集委員 上村 行雄